

別記様式第1号 (概要表)

非常警報設備 (放送設備・非常ベル・自動式サイレン) 概要表

放	使用状況	専用・業務兼用		警戒数	/ 警戒	
	増幅器	型名	認定番号	設置場所	消費電力	出力
送	操作部	放送区分			設置場所	
		一斉・階別選択・その他()			階	
設	遠隔操作部 (リモートマイク)	型式	認定番号	設置個数	設置場所	
	起動装置	押しボタン・発信機・非常電話・自火報の感知器連動				
備	非常電話	型名	認定番号	親機の設置場所	子機数	子機設置場所
	カトリレー	電源カット			個、音声カット 個	
備	自動放送	起動方式				
		押しボタン・発信機と連動・自火報の感知器連動・手動操作のみ 非常電話と連動・内蔵タイマーの設定時間(分)一斉(分)				
	スピーカ-	2線式・3線式	音量調整器	有・無	複数回線装置	有・無
		L 級	M 級		S 級	
		(w) × =	(w) × =	(w) × =	(w) × =	(w) × =
(w) × =		(w) × =	(w) × =	(w) × =	(w) × =	
合計(L)		+(M)		+(S) = W		
非 常 ル ・ 自 動 式 サイ レン	機 器	認定番号	種 別			
		一体型・複合装置・単体型・その他()				
	音 響 装 置	鐘(スピーカ-)	電 圧	電 流	設 置 数	
		径 mm	V	A	屋内型 個、屋外型 個	
操 作 部	回 線 数		設 置 場 所			
	/ 回線		階			
非 源 電 配 線	専用受電設備	蓄 電 池 設 備				
	AC V	・据置 ・内蔵 ・トリクル充電・浮動充電(V AH)				
	常用電源回路	・露出ケーブル ・電線管露出・電線管理設・その他()				
	非常電源	・耐火電線 ・電線管理設・その他()				
線	警報回路	・耐熱電線 ・電線管露出・電線管理設・その他()				
	弱電回路	・露出ケーブル ・電線管露出・電線管理設・その他()				
その他						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

別記様式第3号 (概要表)

消 防 用 水 概 要 表

項 目		良	否
方 式	・自然吸水式 ・加圧式		
水 源	種別 ・防火水槽 ・地中梁 ・据置き ・その他() 水量 保有量_____m ³ 、有効水量_____m ³ 、専用 ・兼用 耐震構造 有、 無		
プ ー ス タ ー ポ ン プ	設 置 位 置	階	
	ポ ン プ 電 動 機	・専用 ・兼用 吐出量_____ℓ/m i n 全揚程_____m、口径_____mm 電圧_____V 出力_____KW	
	呼 装 水 置	有効水量_____ℓ、給水方法____、呼水管_____A 減水警報の種別及び表示場所_____	
	起 装 動 置	・採水口付近 ・防災センター内 ・その他	
採 水 口	・呼称 75 ねじ式 ・呼称 65 差込式		
吸 水 管 投 入 口	投入口寸法 直径_____c m 投入口である旨の表示		
そ の 他			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。
 3 良否欄は、記入しないこと。

別記様式第4号 (概要表)

排 煙 設 備 概 要 表

項		目	良	否
排 煙 機	設置位置	階 階 階		
	機 械 室 の 構 造	壁 ・耐火 ・不燃 ・その他()		
		天井 ・耐火 ・不燃 ・その他()		
		開口部 ・甲 防 ・乙 防 ・不 燃		
機	排出量	m ³ /m i n ・電動機 KW		
起 動 装 置	自 動	・自動 (感知器連動) ・その他()		
	手 動	・手元操作 ・遠隔操作		
吸 煙 口 等	大 き さ	m × m		
	設 置 位 置	・天井面 ・天井直下 ・その他()		
	排 煙 区 画 の 構 造 等	排煙区画面積 最大 m ²		
排煙区画の構造 ・耐火 ・不燃 ・その他()				
風 道 等	風道構造	・耐火 ・不燃 ・その他()		
	区 画 ダンパー	・無 ・FD ・HFD ・PFD ・その他()		
排 煙 口		・屋上 ・その他()		
給 気 口	給気方法	・自然流入 ・その他()		
	風道構造	・耐火 ・不燃 ・その他()		
非常電源		・非常電源専用受電設備 ・自家発電設備 ・蓄電池設備		
そ の 他				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。
 3 良否欄は、記入しないこと。

別記様式第6号 (概要表)

連 結 送 水 管 の 概 要 表

方 式	・乾式	・湿式	系統数	系統	・専用	・兼用(設備)		
送	双 口 型	・壁埋込型	箇所	・スタンド型	箇所	・Y型	箇所		
水	設 置 場 所								
口	地 盤 面 か ら の 高 さ	m		排 水 弁 の 位 置					
放	設 置 場 所	・階段	・階段等付近	・附室	・その他()				
水	階 数						計		
	単 口 型								
	階 数								
	双 口 型								
	放 水 用 具								
口	格 納	ホ ー ス	(径)50mm×(長さ) m×(使用圧)		MP a×(本数)		本		
	品	筒 先	回 転 式	本	媒 介	65A×50A差込式	個		
配	管 口 径	A		管 材 質	J I S	・G	・S c h 40		
	管 継 手	フ ラ ン ジ	J I S B		フ ラ ン ジ 以 外	J I S B			
	弁 類	止 水 弁	J I S	K	逆 水 弁	J I S K			
	防 食 措 置								
加	設 置 場 所	階 室		地 盤 面 か ら の 高 さ	m				
	ポ ン プ	(口径) × (吐出量) × (全揚程) × (出力)							
		∅ ×		ℓ/m i n ×		m ×		k w	
	電 圧	V	出 力	W	圧 力 調 整 装 置	有・無			
	遠 隔 起 動 装 置	・送水口						・防災センター	・その他()
相 互 連 絡 装 置	・インターホーン		・その他()		中 間 水 槽 容 量	m ³			
非 常 電 源	・自家発電設備							・蓄電池設備	・その他()
配	非 常 電 源 回 路	・耐火配線		・電線管理設		・その他()			
	操 作 回 路	・耐熱配線		・電線管理設		・電線管露出・その他()			
	表 示 灯 回 路	・I V電線		・その他()					
そ の 他									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

非常コンセント設備概要表

項 目		良	否
設 置 場 所	()		
設 置 数	設 置 状 況	・単独 ・連結送水管箱併設 ・その他	
	地 階	(階以下) (個)	
	1 1 階 以 上	(個)	
	地 下 街	(個)	
	上 記 以 外	(個)	
	計	(個)	
幹 線 数	(系統)		
非 常 電 源	・非常電源専用受電設備 (高圧・低圧) ・自家発電設備 ・蓄電池設備		
そ の 他			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。
 3 良否欄は、記入しないこと。

別記様式第8号 (概要表)

無線通信補助設備概要表

項 目		良	否
方 式	・専用 ・共用(・警察用 ・携帯電話用 ・その他())		
周波数帯域	(MHZ)		
設 置 方 法	・漏洩同軸ケーブル方式・漏洩同軸ケーブルと空中線方式・空中線方式		
無線機接続 端子位置	保護箱 (有・無) 保護箱の大きさ(cm) ()×()×() 許容入力(設計値) (W) (連続)		
	消 端子設置場所 設 置 数	そ の 他	端子設置場所 設 置 数
	防		
	用		
増 幅 器	・有 ・無 設置場所() 型名()、利得(db)		
混 合 器 共 同 器	・有 ・無 型名()、挿入損失(db) 設置場所()、入力端子数()		
分 配 器	・有 ・無 型名()、挿入損失(db) 設置場所()、設置個数()		
同 軸 ケ ー ブ ル	使用長(m)、敷設場所() 型名()、伝送損失 標準(db/km) 施行方法・電線管工事・露出工事 耐熱措置の方法()		
空 中 線	型名()、設置場所(個)、利得(db) 電圧定在波比()MHZにて()		
漏 洩 同 軸 ケ ー ブ ル	使用長(m)、設置個所(個)、型名() 耐熱措置の方法() 結合損失 標準(db/km)、伝送損失(db/km)		
そ の 他	製造会社名() 漏洩同軸ケーブル()、空中線()、分配器等()、増幅器() 工事業者()、工事業者連絡電話()		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。
 3 良否欄は、記入しないこと。